



文化財の種類 件数は令和2年11月1日現在（文化庁HPより）

区分		国が指定、選定、登録、選択する文化財	件数
有形文化財	建造物、絵画等で歴史上、芸術上又は学術上価値の高いもの	国宝、重要文化財 登録有形文化財	13,317 12,702
無形文化財	演劇、音楽、工芸技術等で歴史上、芸術上価値の高いもの	重要無形文化財、 記録作成等の措置を講ずべき無形文化財	106 91
民俗文化財	衣食住、生業、行事等に関する風俗慣習等生活の推移の理解のために欠くことのできないもの	重要有形民俗文化財、重要無形民俗文化財、 登録有形民俗文化財、 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	541 45 647
記念物	貝塚、古墳、旧宅、動植物など歴史上、学術上価値が高いもの	史跡、特別史跡、名勝、特別名勝、 天然記念物、特別天然記念物 登録記念物	2,270 1,301 117
文化的景観	地域の風土により形成された景観地で国民の生活等の理解のために欠くことのできないもの	重要文化的景観	65
伝統的建造物群	周囲の環境と一体となっている伝統的建造物群で価値の高いもの	重要伝統的建造物群保存地区	120

農業農村整備関係の国指定文化財等

(重要文化財)

都道府県	名称	所在地	指定年月	時代区分	備考	ページ
栃木	那須疏水旧取水施設 東水門、西水門、導水路 及び余水路	那須塩原市	2006. 7. 5	明治	石造水門	—
岡山	高梁川東西用水取配水施設	倉敷市	2016. 7. 25	大正	鉄筋コンクリート造樋門	5
香川	豊稔池堰堤	観音寺市	2006. 12. 19	昭和	マルチプルアーチ式ダム	6
熊本	通潤橋	山都町	1960. 2. 9	江戸末期	石造単アーチ橋	7
熊本	旧郡築新地甲号樋門	八代市	2004. 7. 6	明治	石造及び煉瓦造樋門	—
熊本	旧玉名干拓施設	玉名市	2010. 6. 29	大正	石造堤防	8
大分	白水溜池堰堤水利施設	竹田市	1999. 5. 13	昭和	重力式コンクリート造堰堤	9
沖縄	仲村渠樋川	南城市	1995. 6. 27	大正	石造井泉	10

(登録有形文化財)

都道府県	名称	所在地	登録年月	時代区分	備考	ページ
茨城	江連用水旧溝宮裏両樋	下妻市	2015. 3. 26	明治	煉瓦造樋門	11
埼玉	間瀬堰堤	本庄市	2000. 10. 18	昭和前期	重力式コンクリート造堰堤	12
埼玉	間瀬堰堤管理橋	本庄市	2000. 10. 18	昭和前期	鉄筋コンクリート造桁橋	—
神奈川	二ヶ領用水久地円筒分水	川崎市	1998. 4. 21	昭和前期	鉄筋コンクリート造	13
新潟	西野谷用水路	妙高市	2003. 7. 1	大正	石造	—
富山	庄川合口堰堤	砺波市	2004. 7. 23	昭和前期	重力式鉄筋コンクリート造堰堤	14
大阪	築留二番樋	柏原市	2001. 10. 12	明治末期	煉瓦造単アーチ樋門	—
和歌山	小田井灌漑用水路 小庭谷川渡井	かつらぎ町	2006. 3. 2	明治	煉瓦造単アーチ橋	—
和歌山	小田井灌漑用水路 中谷川水門	かつらぎ町	2006. 3. 2	明治	煉瓦造	—
和歌山	小田井灌漑用水路 木積川渡井	紀の川市	2006. 3. 2	大正	煉瓦造単アーチ橋	—
和歌山	小田井灌漑用水路 龍之渡井	紀の川市	2006. 3. 2	大正	煉瓦造・石造及びコンクリート造単アーチ橋	—
広島	三永の石門	東広島市	1998. 9. 2	明治	石造アーチ橋	—
広島	中の峠隧道	東広島市	2000. 4. 28	昭和前期	鉄筋コンクリート造アーチ坑口	—
山口	江畑溜池堰堤	山口市	2001. 10. 12	昭和前期	コンクリート造重力式堰堤	15
香川	満濃池樋門	まんのう町	2000. 2. 15	明治	石造	—
香川	弥勒石穴	さぬき市	2000. 2. 15	江戸	石造坑口	—
愛媛	論田の西井出堰	内子町	2006. 10. 18	江戸	石造	—
熊本	郡築二番町樋門	八代市	1998. 4. 21	昭和前期	石造アーチ式3連樋門	—
大分	若宮井路笹無田石拱橋	竹田市	1996. 12. 20	大正	石造2連アーチ橋	—

都道府県	名称	所在地	登録年月	時代区分	備考	ページ
大分	明治岡本井路（石垣井路）	竹田市	1996.12.20	大正	石造	—
大分	橋詰水路橋	宇佐市	1998.1.16	江戸	石造単アーチ橋	—
宮崎	享保水路井堰	えびの市	2004.2.17	明治	石造	—
宮崎	享保水路太鼓橋	えびの市	2004.2.17	明治	石造単アーチ橋	16
宮崎	鰐鷲橋	えびの市	2004.2.17	江戸	石造単アーチ橋	—
沖縄	大野越排水溝	宮古島市	2007.7.31	昭和前期	鉄筋コンクリート造	—

(史跡)

都道府県	名称	所在地	指定年月	時代区分	備考	ページ
埼玉	見沼通船堀	さいたま市 川口市	1982.7.3	江戸		17
石川	辰巳用水 附土清水塩硝蔵跡	金沢市	2010.2.22	近世	上・中流部 8.7km 指定 塩硝蔵跡は H25 年追加	—
山梨	御勅使川旧堤防	韮崎市	2003.3.25	近世		—
滋賀 京都	琵琶湖疏水	大津市 京都市	1996.6.19	明治	指定は隧道出入り口、インクライン、水路閘等	18
大阪	狭山池	大阪狭山市	2015.3.10	飛鳥時代 ～現代		19
山口	周防灘干拓遺跡 高泊開作浜五挺唐樋 名田島新開作南蛮樋	山陽小野田 市、山口市	1996.3.28 追加 2013.3.27	江戸		20
福岡	堀川用水及び朝倉揚水車	朝倉市	1990.7.4	江戸		21

(名勝)

都道府県	名称	所在地	指定年月	時代区分	備考	ページ
長野	姨捨（田毎の月）	千曲市	1999.5.10		6.7ha	—
石川	白米の千枚田	輪島市	2001.1.29			—
香川	満濃池	まんのう町	2019.10.16			22

(登録記念物)

都道府県	名称	所在地	登録年月	時代区分	備考	ページ
神奈川	二ヶ領用水	川崎市	2020.3.10	江戸		—
三重	立梅用水	多気町 松阪市	2014.10.6	江戸 ～現代		23

(その他分野の文化財)

都道府県	名称	所在地	登録年月	備考	ページ
宮城	石井閘門	石巻市	2002.5.23	重要文化財	26
岐阜	白川村荻町	白川村	1976.9.4	重要伝統的建造物保存地区	26

(重要文化的景観)

都道府県	名称	所在地	選定年月	時代区分	備考	ページ
岩手	一関本寺の農村景観	一関市	2006. 7. 28			—
群馬	利根川・渡良瀬川合流域の水場景観	板倉町	2011. 9. 21			—
長野	姨捨の棚田	千曲市	2010. 2. 22		64. 3ha	24
長野	小菅の里及び小菅山の文化的景観	飯山市	2014. 1. 21			—
新潟	佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観	佐渡市	2011. 9. 21			—
石川	金沢の文化的景観城下町の伝統と文化	金沢市	2010. 2. 22			—
石川	大沢・上大沢の間垣集落景観	輪島市	2015. 10. 7			—
滋賀	近江八幡の水郷	近江八幡市	2006. 1. 26			—
滋賀	高島市針江・霜降の水辺景観	高島市	2010. 8. 5			—
滋賀	菅浦の湖岸集落景観	長浜市	2014. 10. 6			—
滋賀	伊庭内湖の農村景観	東近江市	2018. 10. 15			—
大阪	日根荘大木の農村景観	泉佐野市	2013. 10. 17			—
和歌山	蘭島および三田・清水の農山村景観	有田川町	2013. 10. 17			—
島根	奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観	奥出雲町	2014. 3. 18			—
徳島	檜原の棚田	上勝町	2010. 2. 22			—
愛媛	宇和島狩浜の段畑と農漁村景観	西予市	2019. 2. 26			—
愛媛	遊子水荷浦の段畑	宇和島市	2007. 7. 26			24
愛媛	奥内の棚田及び農山村景観	松野町	2017. 2. 9			25
高知	四万十川流域の文化的景観 上流域の山村と棚田	梶原町	2009. 2. 12			—
高知	四万十川流域の文化的景観 上流域の農山村と流通・往来	中土佐町	2009. 2. 12			—
高知	四万十川流域の文化的景観 中流域の農山村と流通・往来	四万十町	2009. 2. 12			—
福岡	求菩提の農村景観	豊前市 築上町	2012. 9. 19			—
佐賀	蕨野の棚田	唐津市	2008. 7. 28			—
熊本	通潤用水と白糸台地の棚田景観	山都町	2008. 7. 28			—
熊本	阿蘇の文化的景観 産山村の農村景観	産山村	2017. 10. 13			—
大分	田染荘小崎の農村景観	豊後高田市	2010. 8. 5			—
宮崎	酒谷の坂元棚田及び農山村景観	日南市	2013. 10. 17			25

出典：文化庁国指定文化財等データベース (http://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index_pc.html)

農林水産省水土里の文化遺産 (http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/museum/m_bunka/)

高梁川東西用水取配水施設（たかはしがわとうざいようすいしゅはいすいしせつ）

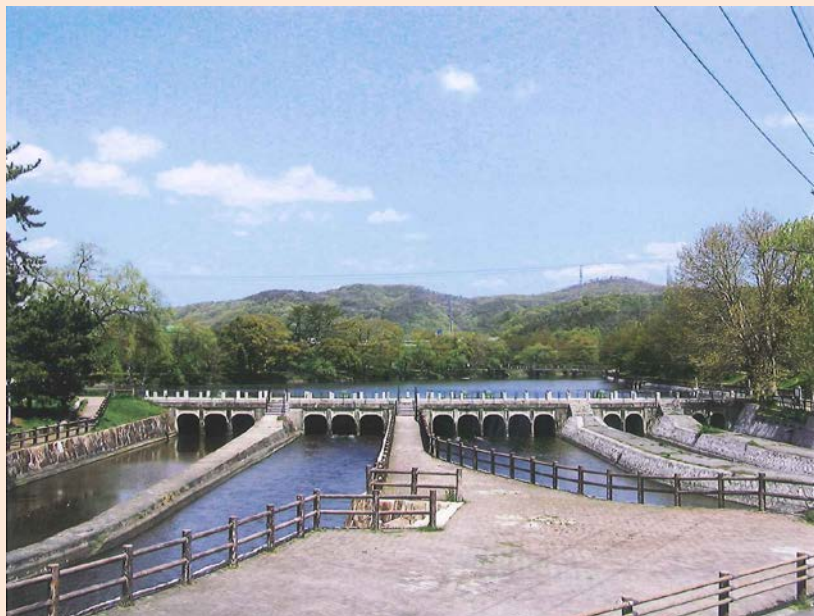
岡山県倉敷市酒津

重要文化財（2016. 7. 25 指定）

岡山県南部、明治期の東・西高梁川改修を機に統合された農業用水樋門

大正 9 年（1920 年）～12 年（1923 年）完成

酒津取水樋門（221m）、北配水樋門（6 門）、南配水樋門（15 門）、事務所（木造二階建）が文化財に指定



第 83 卷第 6 号（2015 年）表紙（谷本浩一氏撮影）
南配水樋門

近世以来の小規模な取水施設を統合して、合理化と大規模化が図られた近代農業用水施設のうち、大正期における最大規模のものとして重要である。また大正期に全国的に導入が進められた鉄筋コンクリート造樋門の現存例としても貴重で、農業土木技術史上、価値が高い。（文化庁文化財データベースより）



第 73 卷第 8 号（2005 年）表紙（河原正信氏撮影）
南配水樋門



南配水樋門
国土地理院 地理院地図

豊稔池堰堤（ほうねんいけえんてい）

香川県観音寺市大野原町

重要文化財（2006. 12. 19 指定）

香川県の南西部、二級河川杵田川上流に建設された農業用ダム

県営事業により大正 15 年（1926 年）着手、昭和 5 年（1930 年）竣工

多拱式粗石モルタル積石堰堤（マルチプルアーチダム）、堤高 30.4m、堤頂長 128m



工事は、顧問である佐野藤次郎博士の指導のもと、農林技師の杉浦翠、木村真五郎氏などを中心に進められた。

我が国最初期のコンクリート造溜池堰堤として、農業土木技術史上、高い価値がある。また、先駆的な構造形式が、昭和前期における堰堤建設の技術的達成度を良く示しており重要である。（文化庁文化財データベースより）



第 71 巻第 9 号（2003 年）表紙（窪田義彦氏撮影）



第 9 巻第 2 号（1937 年）

左：口絵（完成後） 右：報文（昭和初期工事中）



国土地理院 地理院地図



第 68 巻第 6 号（2000 年）口絵（西山壮一氏）



第 79 巻第 7 号（2011 年）表紙（上田一美氏撮影）

通潤橋（つうじゅんきょう）

熊本県上益城郡山都町長原

重要文化財（1960. 2. 9 指定）

熊本県中央部、一級河川緑川水系五郎ヶ瀬川を横断する農業用水路橋

矢部の惣庄屋であった布田保之助によって、安政元年（1854 年）に建造。長さ 84.0m、幅 6.5m、アーチ径間 27.3m で日本最大級の石造アーチ水路橋。通潤用水と白糸台地の棚田景観は 2008 年 7 月に重要文化的景観に選定。



第 62 巻第 10 号（1994 年）表紙（合田 弘氏撮影）

輪石は一重で、壁石は鱗状に積まれている。

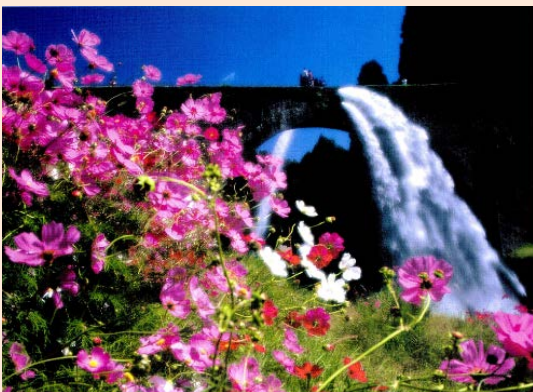
凹形曲面を基本とした美しい形状を持つ我が国最大規模の石造水路橋（文化庁文化財データベースより）



第 71 巻第 3 号（2003 年）表紙（北山清人氏提供）



国土地理院 地理院地図



第 72 巻第 10 号（2004 年）表紙（山内洋一氏撮影） 第 86 巻第 10 号（2018 年）表紙（林田 創氏撮影）



通水石管の補修

旧玉名干拓施設（きゅうたまなかんとくしせつ）

熊本県玉名市大浜町及び横島町

重要文化財（2010.6.29 指定）

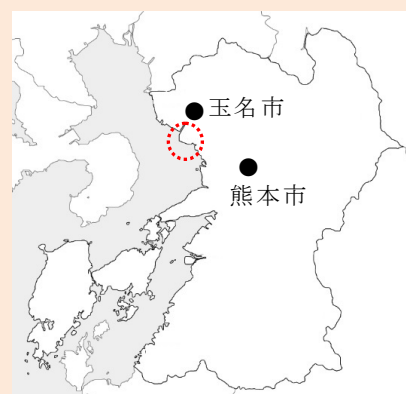
熊本県北西部に位置する旧干拓施設

明治 20 年代以降に築かれ、大正期及び昭和初期に発生した潮害後に熊本県を中心として復旧、改造された
末広開、明丑開、明豊開及び大豊開の 4 ヲ所の潮受け堤防（総延長 5.2km）並びに樋門 3 ヲ所



第 79 巻第 6 号（2011 年）表紙（原田 稔氏撮影）
写真は末広開・明丑開堤防と六枚戸

干拓地としてわが国有数の面積を誇る有明干拓地の中で、近代を代表する大規模建造物として価値が高い。また、潮害を克服するために駆使された数々の技術は、大正期・昭和初期におけるわが国の干拓地建設技術を知る上で重要である。（文化庁文化財データベースより）



第 85 巻第 6 号（2017 年）表紙（渡邊圭四郎氏撮影）
写真は玉名横島干拓



国土地理院 地理院地図

白水溜池堰堤水利施設（はくすいためいけえんていすいりしせつ） 大分県竹田市次倉及び萩町柏原
重要文化財（1999.5.13 指定）

大分県南西部、一級河川大野川上流に築造された農業用ため池

富士緒井路水利組合事業により昭和13年（1938年）完成

重力式割石コンクリートダム、堤高14m、堤長86m、総貯水量600千m³



第72巻第4号（2004年）表紙（上ノ堀洋一氏撮影）

昭和前期における越流式コンクリート重力ダムを中心とする農業水利施設の代表的な事例で、各構造物を地形に対応して的確に構築したことにより類い希な水流美を現出させており、技術上かつ造形上の価値が認められる。（文化庁文化財データベースより）



第84巻第12号（2016年）表紙（細川吉晴氏撮影）



国土地理院 地理院地図

仲村渠樋川（なかんだかりひーじゃー）

沖縄県南城市玉城字仲村渠

重要文化財（1995. 6. 27 指定）

沖縄本島南東部にある井泉で、琉球石灰岩の台地から出る湧水を貯める施設

現在の施設は大正元年（1912 年）に琉球石灰岩で造られた

石造井泉、いきががー、いなぐがー、周囲水路、擁壁、拝所、広場、石畳（がーびら）よりなる



指定基準：流派的又は地方的特色において顕著なもの（文化庁文化財データベースより）



第 65 巻第 11 号（1997 年）口絵（農村環境整備センター提供）



国土地理院 地理院地図

江連用水旧溝宮裏両樋（えづれようすいきゅうこうみやうらりょうひ）

茨城県下妻市本宗道

登録有形文化財（2015. 3. 26 登録）

茨城県南西部、江戸時代に鬼怒川（真岡市上江連地点）から引いた江連用水の旧分水施設
 現在の分水施設は延長 3.6m の二連煉瓦造二基（東樋門・西樋門）で明治 33 年に建設された
 昭和 50 年代に江連用水の流路が変更されたことにより使用されなくなった



第 79 巻第 3 号（2011 年）表紙（丹治 肇氏撮影）

堰柱は上流側に水切りを付け、下流側を階段状とする特徴的な形式。
 明治期北関東に多数建設された煉瓦樋門の一つで用水施設の近代化を物語る。（文化庁文化財データベースより）



国土地理院 地理院地図

間瀬堰堤（まぜえんてい）

埼玉県本庄市児玉

登録有形文化財（2000.10.18 登録）

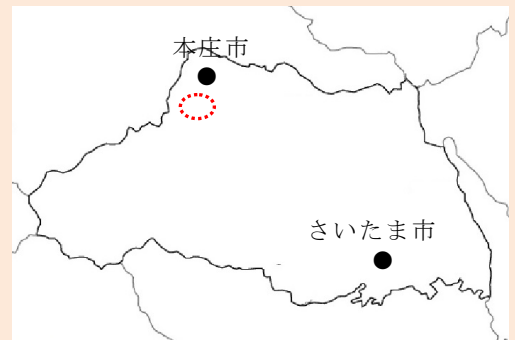
埼玉県北西部、利根川水系間瀬川中流部に建設された農業用ダム

県営事業により昭和 12 年（1937 年）完成、東日本最古の農業用重力ダム

堤高 27.5m、堤長 126m、間瀬堰堤の導水下流部に架かる 3 径間 RC 造桁橋の管理橋も登録有形文化財



大正 8 年？から昭和 13 年にかけて
造られた児玉用水の中心的施設（文
化庁文化財データベースより）

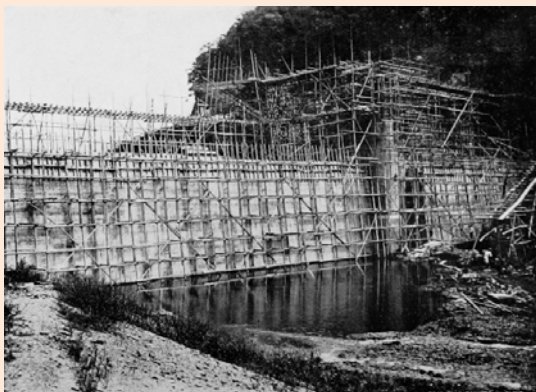


第 62 巻第 3 号（1994 年）表紙（田島 信氏撮影）



築堤箇所

第 7 巻第 4 号（1935 年）口絵



工事中の堰堤上流面

第 7 巻第 4 号（1935 年）口絵



国土地理院 地理院地図



第 41 巻第 1 号（1973 年）口絵

二ヶ領用水久地円筒分水（にかりょうようすいくじえんとうぶんすい）

神奈川県川崎市高津区久地

登録有形文化財（1998. 4. 21 登録）

神奈川県、一級河川多摩川右岸から取水した用水路の分水工

川崎領と稲毛領へ水を引く二ヶ領用水は慶長4年（1611年）完成。現在は都市化により農業利用はなし

円筒分水は平賀栄治設計により昭和 16 年（1941 年）完成、重力式鉄筋コンクリート造、直径 16m



第 87 巻第 5 号（2019 年）表紙（山寄高洋氏撮影）

多摩川から取水した水を灌漑面積に応じて周辺耕地に分けるために建設された農業用水施設。サイホンの原理の応用により湧き上がった水を、円筒の周囲に配された 4 つの水路に分水する形式。この形式の施設はその後多くつくられたが、初期の事例として貴重。（文化庁文化財データベースより）



二ヶ領用水 宿河原堰

第 81 巻第 6 号（2013 年）表紙（中村貴彦氏撮影）

久地分水工



国土地理院 地理院地図



二ヶ領用水 上河原堰

第 86 巻第 9 号（2018 年）表紙（岡澤 宏氏撮影）

庄川合口堰堤（しょうがわごうぐちえんてい）

富山県砺波市金屋

登録有形文化財（2004. 7. 23 登録）

富山県西部、一級河川庄川の中流部に築造されたダム

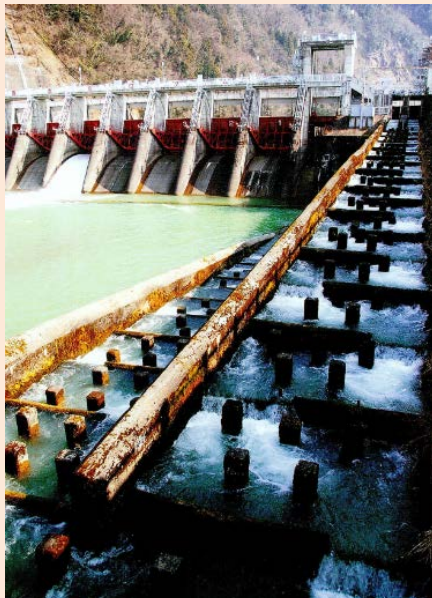
県営事業により昭和 14 年（1939 年）完成、事業目的は農業、上水道、工業用水、発電

重力式鉄筋コンクリート造堰堤、堤高 18.5m、堤長 103m、総貯水量 626 千 m³

礪波平野を貫流する庄川に点在していた用水取入堰を集約した灌漑・発電用堰堤。10門のラジアルゲートを付けた鉄筋コンクリート造堰堤で、左岸下流に魚道，兩岸上流に取水口を設ける。我国屈指の大扇状地を潤し、穀倉地帯の近代化を支える。（文化庁文化財データベースより）



第 73 巻第 11 号（2005 年）表紙（平木叙光氏撮影）



庄川合口堰堤魚道

第 76 巻第 10 号（2008 年）表紙（井上学氏撮影）

庄川合口堰堤



国土地理院 地理院地図

江畑溜池堰堤（えばたためいけえんてい）

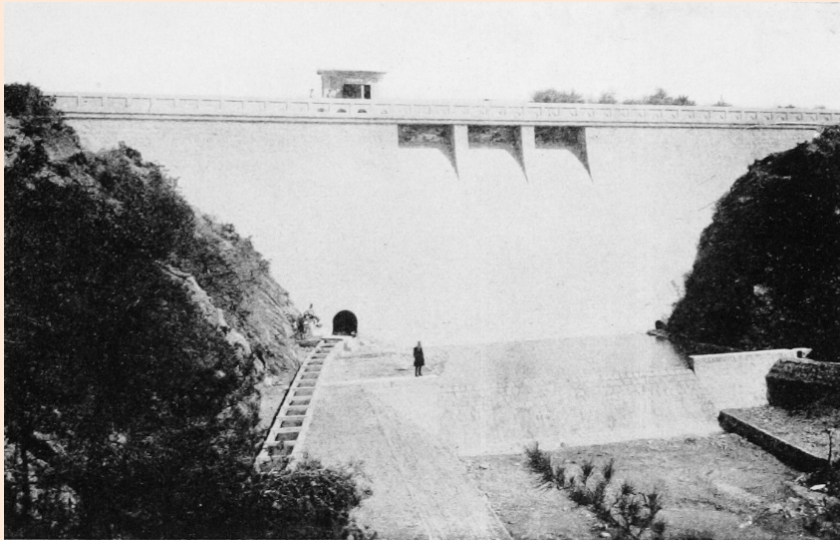
山口県山口市阿智須源河

登録有形文化財（2001. 10. 12 登録）

山口県南西部、二級河川土路石川水系の支流に築造されたため池

県営事業により昭和5年（1930年）竣工

堤体表面に花崗岩を張る堤高14.4m、堤長69m、総貯水量450千 m^3 の玉石コンクリート造堰堤



コンクリート造重力式溜池堰堤として最初期のもの。（文化庁文化財データベースより）



第4巻第2号（1932年）口絵



江畑溜池



国土地理院 地理院地図

第4巻第2号（1932年）口絵

享保水路太鼓橋（きょうほうすいろたいこばし）

宮崎県えびの市大字大河平

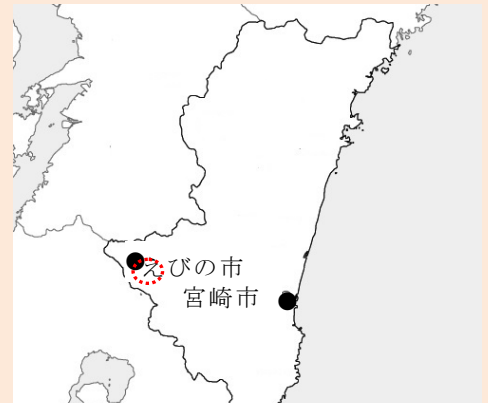
登録有形文化財（2004. 2. 17 登録）

宮崎県南西部、一級河川川内川水系有島川を横断する農業用水路

享保水路は享保 17 年（1732 年）完成。取水は川内川上流の享保水路井堰。当時は現在より約 200m 上流を木樋で横断と伝えられる、現在の太鼓橋は橋長 34m、復員 8.8m の石造単アーチ橋で明治 3 年（1870 年）完成



登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの
（文化庁文化財データベースより）



第 65 巻第 11 号（1997 年）口絵 農村環境整備センター提供



国土地理院 地理院地図

見沼通船堀（みぬまつうせんぼり）

埼玉県さいたま市・川口市

史跡（1982.7.3 指定）

埼玉県南部に位置する我が国最古の閘門式運河

享保 16 年（1731 年）芝川と見沼代用水東縁・西縁の両用水路を結ぶ。

見沼代用水は、見沼溜井の代替水源として利根川から引水する水路で、井澤弥惣兵衛為永が享保 13 年（1728 年）に完成させた。



指定基準：六、交通・通信施設、治山・治水施設、生産施設その他経済・生産活動に関する井堰

（文化庁文化財データベースより）



復元された通船堀

第 67 巻第 8 号（1999 年）口絵（埼玉県他提供）



国土地理院 地理院地図

琵琶湖疏水（びわこそすい）

滋賀県大津市・京都府京都市

史跡（1996.6.19 指定）

滋賀県大津市の琵琶湖から京都市山科、蹴上、伏見を経て宇治川に注ぐ疏水・運河
 京都府知事北垣国道が舟運、工業用水、農業用水、飲料水の確保のため推し進め、工学士田辺朔郎の指揮の下、
 明治 18 年着工、明治 23 年大津から京都市鴨川まで、明治 28 年鴨川から宇治川までが完成。全長 20km
 わが国初の水力発電所を設置。現在は上水道が主であるが、農業用水にも一部利用されている
 史跡名としては「琵琶湖疎水」、指定対象は隧道出入り口、インクライン、水路閣等、



第 73 巻第 5 号（2005 年）表紙（稲垣正雄氏撮影）
 疏水上流（大津市）

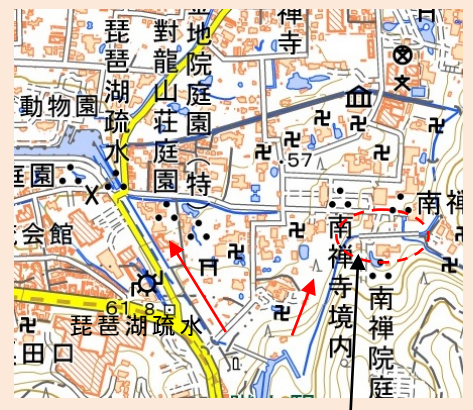
日本人技術者の手になる初期の大規模土木工事であり、明治中期における日本の土木技術水準の到達点を示す土木史上画期的な事業である。また、舟運・発電・水道等に広く利用されることを通じて京都の近代都市としての発展をもたらした点で大きな意味をもつものであった。（文化庁文化財データベースより）



琵琶湖取水側・国土地理院 地理院地図



第 86 巻第 7 号（2018 年）表紙（藤原正幸氏撮影）
 支線用水路（南禅寺水路閣・京都市）



南禅寺水路閣

・国土地理院 地理院地図

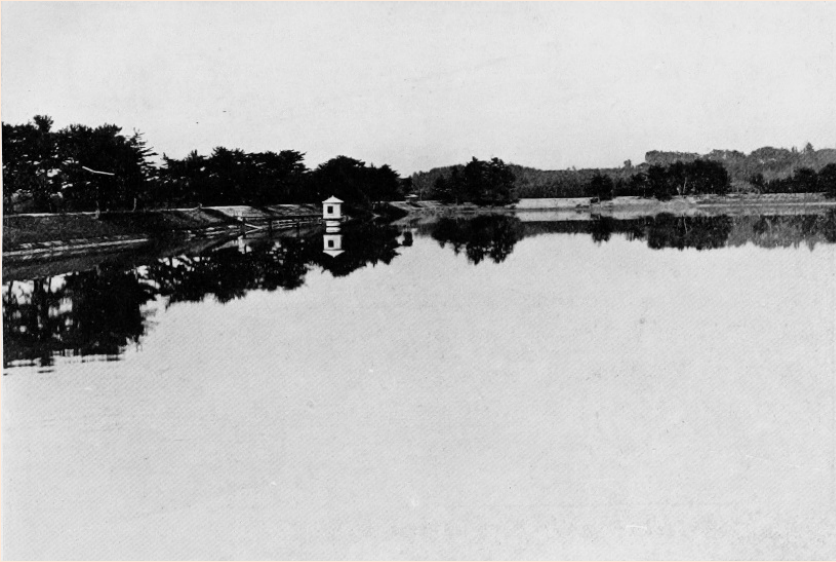
狭山池（さやまいけ） 大阪府大阪狭山市
史跡（2015. 3. 10 指定）

大阪府南部に築造されたため池。

7世紀前半飛鳥時代に築造とされる現存する我が国最古のダム形式のため池。

度々改修され、奈良時代の行基、鎌倉時代の重源、江戸時代の片桐且元などの改修等が知られる。

昭和初期及び平成の二度の改修により、現在の規模は貯水量 280 万 m³、満水面積 36ha となっている。



第6巻第1号（1934年）口絵

発掘調査によって築造の工法、歴史の変遷も明らかとなり、飛鳥時代の木樋をはじめとする貴重な遺物も出土した。我が国古代以来の土木技術の歴史を理解する上で重要である。（文化庁文化財データベースより）



新取水塔



洪水吐（改修後）

第6巻第1号（1934年）



国土地理院 地理院地図



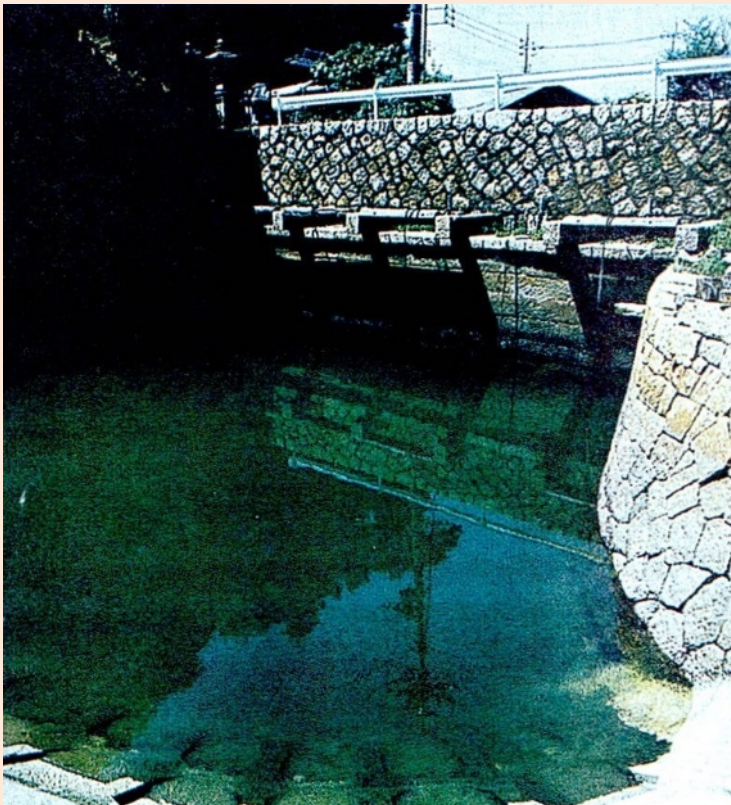
周防灘干拓遺跡（すおうなだかんたくいせき） 史跡（1996.3.28 指定）

高泊開作浜五挺唐樋（たかとまりかいさくはまごちょうからひ） 山口県山陽小野田市西高泊

名田島新開作南蛮樋（なたしましんかいさくなんばんひ） 山口県山口市大字名田島

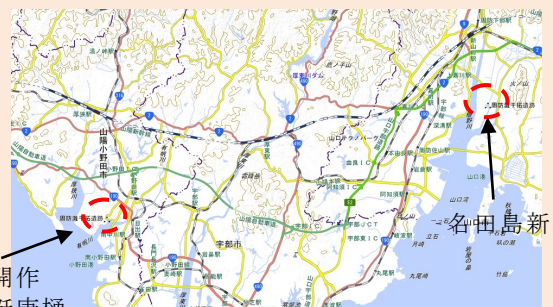
山口県南西部に位置する周防灘干拓の排水用樋門

高泊開作（400 町歩）は寛文 8 年（1668 年）に完成、名田島開作は寛永 3 年（1626 年）に最初の干拓完成
高泊開作浜五挺唐樋は唐樋（招き扉）で、当初は石垣土垣の樋門、寛文 10 年頃到新樋門（三挺唐樋）とし、安政 4 年（1857 年）に五挺唐樋となった。名田島新開作南蛮樋は、巻き上げ方式の仕切板を上下に作動する方式。



浜五挺唐樋
第 65 卷第 11 号（1997 年）口絵
（農村環境整備センター提供）

高泊の浜五挺唐樋、名田島の新開作南蛮樋等は、近世の周防灘における萩藩による開作（干拓）の実態を示す貴重な遺跡であり、また切石積による精緻な構造は、当時の土木技術の到達点をよく示している。（文化庁文化財データベースより）



高泊開作
浜五挺唐樋

名田島新開作

国土地理院 地理院地図



国土地理院 地理院地図

堀川用水及び朝倉揚水車（ほりかわようすいおよびあさくらようすいしゃ）

福岡県朝倉市

史跡（1990.7.4 指定）

福岡県中部に位置する用水路および水車

一級河川筑後川から取水する堀川用水は筑後川四大用水の一つで江戸時代 1664 年竣工

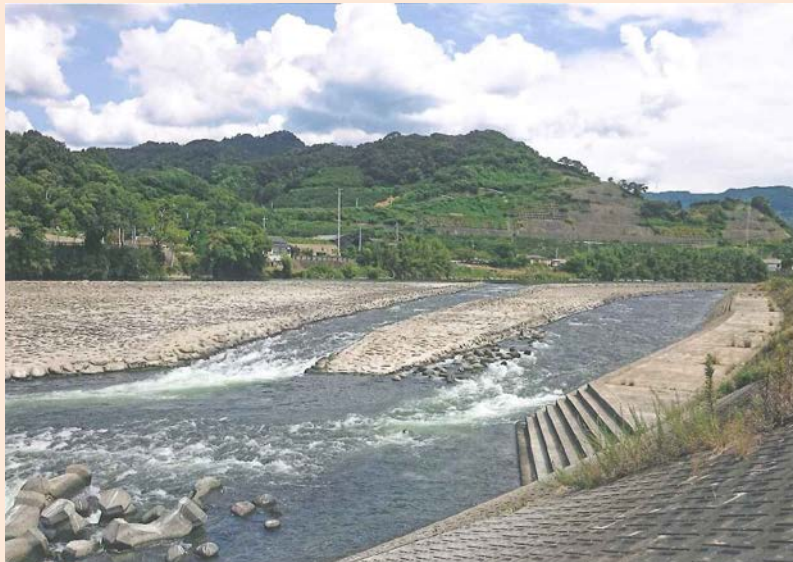
堀川用水は流速も早く水量が豊富であり、上流部には多くの揚水車が設置された（菱野三連水車等が現存）



堀川用水及び朝倉三連水車

第 59 巻第 12 号（1991 年）口絵（佐藤俊郎氏提供）

堀川用水は「利水の方法を知らず」といわれた筑後川にはじめて設けられた大規模用水であり、取水口周辺によくその難工事の様相をしるすことができる。また朝倉揚水車は安定し流速のある大規模用水を利用してさらに開田を進めようとした近世農民の英知を具体的に示すものである。これらは筑後川流域における水田開発の過程を具体的に知ることができる貴重な遺跡であり、日本農業史上有数の文化財である。（文化庁文化財データベースより）

山田堰 第 85 巻第 8 号（2017 年）表紙
（小澤拓治氏撮影）

国土地理院 地理院地図

山田堰

満濃池（まんのういけ） 香川県まんのう町
名勝（2019.10.16 指定）

香川県南西部に位置する、日本最大級の灌漑用ため池、
大宝年間（701年～704年）に築造したが818年に決壊、821年空海が修築と伝えられる
1184年決壊後、約450年間放置され、1631年西嶋八平衛による修築など破堤と復旧を繰り返す
土堰堤、堤高32.0m、堤長155.8m、貯水量1,540万m³、満水面積138.5ha。満濃池樋門は登録有形文化財

古代以来の巨大な堰堤の構築によって形成された広大なため池で、流域の地勢や遥かに遠望する山並みとともに優れた風致景観を呈する。近世から近代を通じて広く親しまれてきた名所（文化庁文化財データベースより）



第 49 卷第 7 号（1981 年）口絵（古代のため池特集）



国土地理院 地理院地図

第 68 卷第 6 号 (2000 年) 口絵 (西山壮一氏提供)



第 87 巻第 12 号（2019 年）表紙
（本條忠應氏撮影）、写真は余水吐

立梅用水（たちばいようすい）

三重県多気町・松阪市

登録記念物（2014.10.6 登録）

三重県中部、多気町の旧勢和村一円を潤す灌漑用水路。

立梅用水は紀州藩により文政6年（1823年）完成。一級河川櫛田川に設置された立梅井堰によって取水し、導水。全長28km。現在の立梅堰（松阪市飯南町）は石張コンクリート造で大正10年（1921年）に完成。



立梅堰 第75巻第7号（2007年）表紙
（稲垣正雄氏撮影）

現在の水路は昭和期以降に建設された隧道を一部利用しているが、硬い岩盤を割り抜いた素掘りの隧道や切り通しの部分が残し、大半の経路が当初の経路を踏襲していると考えられることとあいまって、近世の土木技術を知る上で貴重である。また、紀州流と呼ばれる土木工法の実態を解明する上でも貴重である。（文化庁文化財データベースより）



立梅堰 第81巻第4号（2013年）表紙
（高橋幸照氏撮影）



国土地理院 地理院地図

姨捨の棚田（おばすてのたなだ）

長野県千曲市

重要文化的景観（2010. 2. 22 選定）

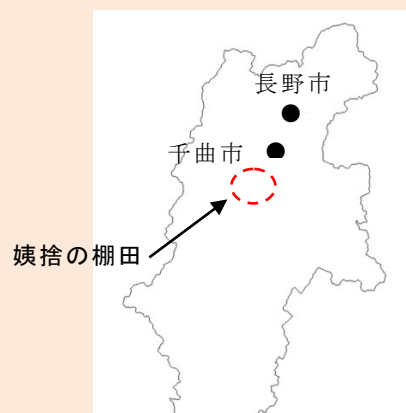
長野県北部、一級河川千曲川左岸の標高約 460m から約 560m の範囲に展開する棚田地帯。

元禄 10 年（1697 年）に上流の大池から水を導くために堰を建設したのに伴って開発されたと伝えられる。明治 10 年（1877 年）にはほぼ現在の棚田地域が完成したものと考えられている。姨捨（田毎の月）は 1999 年名勝に



第 74 巻第 5 号（2006 年）表紙（田原正教氏撮影）

水源となる大池から更級川へと繋がる水系を軸として、用水や田越の給水手法、「ガニセ」と呼ぶ暗渠による排水方法が網の目のように張り巡らされ、近世から近現代に至るまで継続的に営まれてきた農業の土地利用の在り方を示す独特の文化的景観である。（文化庁文化財データベースより）



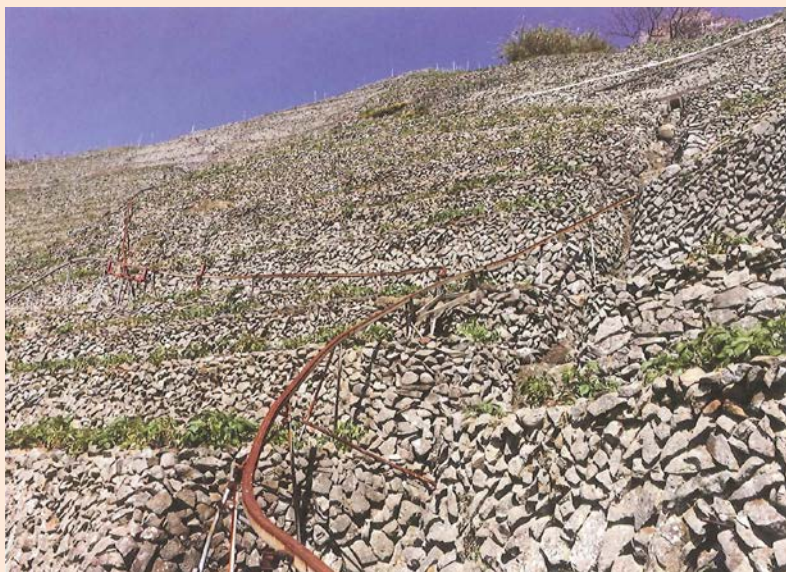
遊子水荷浦の段畑（ゆすみずがうらのだんばた）

愛媛県宇和島市

重要文化的景観（2007. 7. 26 選定）

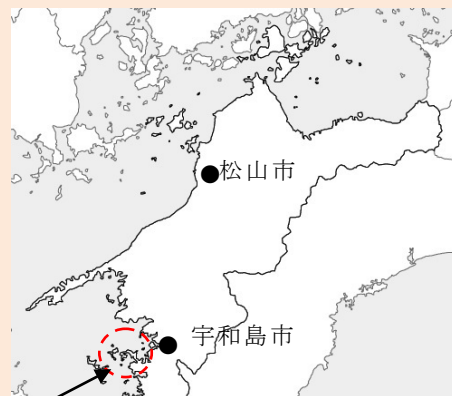
四国の西端に位置し、豊後水道に向かって伸びる三浦半島の岬の小集落

集落背後の急傾斜面には、等高線に沿って小さな石を積み上げて壮大な雛段状の段畑が形成されている
平均こう配は約 40 度



第 84 巻第 2 号（2016 年）表紙（木村匡臣氏撮影）

宇和海沿岸の急峻な地形や強い季節風など地域の風土とも調和しつつ、近世から近現代に至るまで継続的に営まれてきた半農半漁の土地利用の在り方を示す独特の文化景観であり、我が国民の生活又は生業を理解する上で欠くことのできないものである。（文化庁文化財データベースより）



遊子水荷浦の段畑

奥内の棚田及び農山村景観（おくうちのたなだおよびのうさんそんけいかん）

愛媛県北宇和郡松野町 重要文化的景観（2017.2.9 選定）

愛媛県南西部、一級河川四万十川支流奥内川上流部

江戸時代中期以降に形成された棚田を含む4つの集落からなる

地形条件に沿って、谷部を水田、尾根部を屋敷地、屋敷地周辺を畑として継続的に利用



四国南西部の四万十川源流域の山間部を開墾した小規模な棚田群からなる文化的景観であり、四国山間部の厳しい地形条件の中で江戸時代以来現在まで継続されてきた生活または生業を知る上でも重要である。（文化庁文化財データベースより）



第 87 巻第 3 号（2019 年）表紙（近田昌樹氏撮影）

酒谷の坂元棚田及び農山村景観（さかたにのさかもとたなだおよびのうさんそんけいかん）

宮崎県日南市 重要文化的景観（2013.10.17 選定）

宮崎県南東部、昭和初期に耕地整理事業により造成された棚田

3～5 アール長方形区画、馬の進入路を確保し、昭和初期以前の個別分散型の農業から、耕地整理以降の坂元棚田における集約的な稲作、そして戦後の飢肥杉造林による林業へと生業の中心を変遷させてきた



近代農業土木技術の水準を示す坂元棚田及び分（部）一山制度に起源を持つ統治独特の営林方法によって形成された独特の土地利用の在り方は、この地域における生活・生業を理解する上で欠くことができないものである。（文化庁文化財データベースより）



第 76 巻第 6 号（2008 年）表紙（田口 保氏撮影）

坂元の棚田

学会誌表紙に見るその他分野の文化財

石井閘門（いしいこうもん） 宮城県石巻市

重要文化財（2002. 5. 23 指定）



第 80 巻第 5 号表紙（丹治 肇氏撮影）

オランダ人ファン・ドールンの計画に基づき、明治 11 年に起工、明治 13 年に竣工。

我が国における近代閘門の嚆矢であり、また明治期から大正期にかけて全国に建造された近代閘門の模範を示すものとして、土木技術史上価値が高い（文化庁文化財データベースより）



白川村荻町（しらかわむらおぎまち）

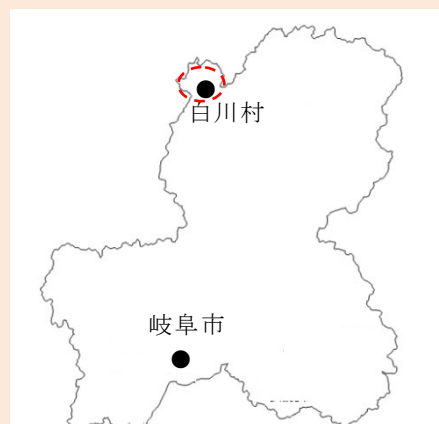
岐阜県白川村

重要伝統的建造物群保存地区（1976. 9. 4）、世界遺産（1995 年）



第 64 巻第 12 号表紙（稲垣正雄氏撮影）

飛騨山間部の農村集落。庄川沿いのわずかに開けた平地に切妻合掌造の家屋が建ち並び、水田や畑など周辺の自然環境とともに歴史的風致をよく残した農村景観が広がっている。（文化庁文化財データベースより）



学会誌の参考報文

石井閘門（宮城県） **重要文化財**

Cover History 石井閘門と旧北上川（丹治肇） 農業農村工学会誌第 80 巻第 5 号（2012）

江連用水旧溝（茨城県） **登録有形文化財**

Cover History 江連用水旧溝（丹治肇） 農業農村工学会誌第 79 巻第 3 号（2011）

那須疏水（栃木県） **重要文化財**

「印南丈作」・「矢板武」－那須疏水の開削に尽力（手塚克） 農業土木学会誌第 48 巻第 3 号（1980）

見沼通船堀（埼玉県） **史跡**

井沢弥惣兵衛為永の業績－見沼代用水（井奈良彦） 農業土木学会誌第 47 巻第 4 号（1979）

見沼代用水の開発と展開による地域的意義と現代的評価（児島正展他） 農業土木学会誌第 65 巻第 12 号（1997）

今も生きる幕府の窮乏を救った紀州流の技術＜見沼代用水＞（蜂須良浩） 農業農村工学会誌第 77 巻第 10 号（2009）

間瀬堰堤（埼玉県） **登録有形文化財**

混凝土重力堰堤ノ一事例（埼玉縣児玉用水改良事業）（前川純三） 農業土木研究第 7 巻第 4 号（1935）

二ヶ領用水（神奈川県） **登録有形文化財（久地円筒分水）、登録記念物（二ヶ領用水）**

江戸・東京の水利探訪（その 18）－二ヶ領用水－（大橋欣治） 農業農村工学会誌第 76 巻第 9 号（2008）

Cover History 風薫る宿河原堰堤（中村貴彦） 農業農村工学会誌第 81 巻第 6 号（2013）

Cover History 多摩川をコントロールする 2 つの堰（岡澤宏） 農業農村工学会誌第 86 巻第 9 号（2018）

Cover History 二ヶ領用水久地円筒分水（山寄高洋） 農業農村工学会誌第 87 巻第 5 号（2019）

姨捨の棚田（長野県） **重要文化的景観**

Cover History 姨捨の棚田（田原正教） 農業土木学会誌第 74 巻第 5 号（2006）

庄川合口堰堤（富山県） **登録有形文化財**

富山縣営庄川用水合口事業（川村長作） 農業土木研究第 9 巻第 3 号（1937）

富山縣営庄川用水合口事業（其二）（川村長作） 農業土木研究第 10 巻第 4 号（1938）

根尾宗四郎－庄川筋用水の合口用水路を完成（坪本清治） 農業土木学会誌第 56 巻第 2 号（1988）

Cover History 国有形登録文化財「庄川合口堰堤」（平木叙光） 農業土木学会誌第 73 巻第 11 号（2005）

Cover History 庄川用水合口堰堤（庄川用水合口事業）（井上学） 農業農村工学会誌第 76 巻第 10 号（2008）

辰巳用水附土清水塩硝蔵跡（石川県） **史跡**

板屋兵四郎－そのナゾの生涯と辰巳用水－（藤川正巳） 農業土木学会誌第 48 巻第 12 号（1980）

用水のマチ金沢②－金沢古地図散歩－辰巳用水を歩く（松本精一） 農業土木学会誌第 70 巻第 8 号（2002）

地域だより－国指定史跡辰巳用水と辰巳用水にまなぶ会（森丈久・玉井信行） 農業農村工学会誌第 88 巻第 2 号（2020）

立梅用水（三重県） **登録記念物**

Cover History 立梅堰（稲垣正雄） 農業土木学会誌第 75 巻第 7 号（2007）

Cover History 立梅用水史 190 年に開眼する（高橋幸照） 農業農村工学会誌第 81 巻第 4 号（2013）

狭山池（大阪府） **史跡**

河内國狭山池の改造工事 農業土木研究第 6 巻第 1 号（1934）

大阪府営狭山池用水改良第二期事業概要及野遠堰 農業土木研究第 7 巻第 2 号（1935）

古代のフィルダム－日本のフィルダム 1700 年のあゆみ（前編）（湯川清光） 農業土木学会誌第 49 巻第 7 号（1981）

小田井灌漑用水路 龍之渡井（和歌山県） **登録有形文化財**

三百年を経てなお地域を潤す農業用水路（小田井水路 龍之渡井）（安田進） 農業農村工学会誌第 77 巻第 10 号（2009）

高梁川東西用水取配水施設（岡山県） **重要文化財**

Cover History 風景にとけ込む配水池（河原正信） 農業土木学会誌第 73 巻第 8 号（2005）

国家的大事業とともに＜東西用水＞（石井将幸） 農業農村工学会誌第 77 巻第 10 号（2009）

Cover History 東西用水南配水樋門（谷本浩一） 農業農村工学会誌第 83 巻第 6 号（2015）

江畑溜池堰堤（山口県） **登録有形文化財**

山口縣吉敷郡井関村用水幹線改良事業概要 農業土木研究第 4 巻第 2 号（1932）

満濃池（香川県） 登録有形文化財

古代のフィルダムー日本のフィルダム 1700 年のあゆみ（前編）（湯川清光） 農業土木学会誌第 49 巻第 7 号（1981）
 地域の象徴＜満濃池＞（石井将幸） 農業農村工学会誌第 77 巻第 10 号（2009）
 Cover History 水理模型実験を経て改築され、洪水時その存在感を発揮する満濃池「側溝式余水吐」（本條忠應）
 農業農村工学会誌第 87 巻第 12 号（2019）

豊稔池堰堤（香川県） 重要文化財

香川県三豊郡大野原村外用排水改良事業概要（翠 黙） 農業土木研究第 9 巻第 2 号（1937）
 Cover History 中世ヨーロッパの古城を偲ばせる豊稔池（窪田義彦） 農業土木学会誌第 71 巻第 9 号（2003）
 Cover History 大正の英知の結晶（豊稔池）（上田一美） 農業農村工学会誌第 79 巻第 7 号（2011）

遊子水荷浦の段畑（愛媛県） 重要文化景観

Cover History 宇和海にそびえ立つ遊子水荷浦の段畑（木村匡臣） 農業農村工学会誌第 84 巻第 2 号（2016）

奥内の棚田及び農山村景観（愛媛県） 重要文化景観

Cover History 200 年以上続く棚田と農山村の景観（近田昌樹） 農業農村工学会誌第 87 巻第 3 号（2019）

堀川用水及び朝倉揚水車（福岡） 史跡

わが国に現存する唯一の大規模石堰＜筑後川：山田堰および堀川用水路＞（加藤治）学会誌第 77 巻第 10 号（2009）

通潤橋（熊本県） 重要文化財

熊本縣矢部の通潤橋 耕地整理研究会報第 36 号（1918）
 吹上台メガネ橋を築造した地域開発の先覚者・布田保之助翁（菊岡保人・宮崎司郎） 学会誌第 51 巻第 10 号（1983）
 Cover History 「通潤用水」と「通潤橋」（北山清人） 農業土木学会誌第 71 巻第 3 号（2003）
 Cover History 空を渡る虹の橋 祝通潤橋架橋 150 周年（山内洋一） 農業土木学会誌第 72 巻第 10 号（2004）
 五老ヶ滝川を跨ぐ石造りの水管橋＜通潤橋＞（北山清人） 農業農村工学会誌第 77 巻第 10 号（2009）

旧玉名干拓施設（熊本県） 重要文化財

Cover History 末広開・明丑開堤防と六枚戸（原田稔） 農業農村工学会誌第 79 巻第 6 号（2011）
 Cover History 有明海に開ける玉名横島干拓（渡邊圭四郎） 農業農村工学会誌第 85 巻第 6 号（2017）

白水ため池（大分県） 重要文化財

Cover History 白水ため池（白水ダム）が語る農業の歴史（上ノ堀洋一） 農業土木学会誌第 72 巻第 4 号（2004）
 Cover History 白水溜池堰堤ー通称白水ダムー（細川吉晴） 農業農村工学会誌第 84 巻第 12 号（2016）

酒谷の棚田及び農山村景観（宮崎県） 重要文化景観

Cover History 地域資源を活かした村おこし（田口保） 農業農村工学会誌第 76 巻第 6 号（2008）

大野越排水溝（沖縄県） 登録有形文化財

沖縄県宮古郡平良町佐和地開墾事業概要（的場盆二） 農業土木研究第 9 巻第 3 号（1937）